



## 第 1 1 回山口市スマートシティ推進協議会資料

- (1)「山口市スマートシティ推進ビジョン」について
- (2)山口市におけるスマートシティの進捗状況について
  - ①分科会の活動
  - ②重点プロジェクトと今後の展開について

【参考】関連KPI(重要業績評価指標)



令和6年12月24日

山口市総合政策部 スマートシティ推進室

(1) 「山口市スマートシティ推進ビジョン」について

## 「スマートシティ推進ビジョン」策定の目的

今後、予測される人口減少と 少子高齢化などの社会情勢の変化とともに、働き方や暮らし方の意識が変化する中、あらゆる地域に住み続けることができるように、様々な分野における課題に対応していくことが求められています。

こうしたことから、スマートシティの推進を通じた本市の目指すべき姿や取組の方向性等をビジョンとして位置付け、デジタル社会や脱炭素社会などの新しい時代の流れへの対応を進めることで、地域課題の解決や地域経済の活性化を図り、地方創生の取組を更に加速化させるため、「山口市スマートシティ推進ビジョン」を策定しました。

## 目指すまちの姿

**誰もがいきいきと豊かに暮らせる持続可能なまち 山口**  
**～スマート“ライフ”シティ 山口～**

本ビジョンにおいては、生活者の視点を第一に考えたデジタル化等を通じて、市民の安全安心や生活の質の向上、幸せづくり、また、地域経済の活性化に向けた取組を進めていくこととしています。目指すまちの姿「誰もがいきいきと豊かに暮らせる持続可能なまち 山口～スマート“ライフ”シティ 山口～」の実現に向け、DX(デジタル技術の活用)、HX(人材育成)、GX(地域脱炭素の推進)の3つのトランスフォーメーションの取組を一体的に進めています。

## 重点プロジェクト

民間事業者等からの事業提案をもとに、スマートシティ推進協議会における事業内容の整理・検討を行いました。そして、以下の14の重点プロジェクトの具体化に向けた検討を進めています。

NO	分野	プロジェクト名
1	DX社会基盤	新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト
2	交通(移動・物流)	最適な移動を実現するまちプロジェクト
3	防災・防犯	逃げ遅れ“ゼロ”プロジェクト
4	子育て	親が元気に活躍するまちプロジェクト
5	教育	生涯学び・活躍プロジェクト
6	教育	豊かな学びをはぐくむプロジェクト
7	ヘルスケア(医療・介護)	元気いきいきプロジェクト
8	観光	おいでませ山口・観光地域づくりプロジェクト
9	環境・エネルギー	地域脱炭素推進プロジェクト
10	産業	地域産業・経済活性化プロジェクト
11	地域づくり	スマート“ライフ”シティを支える拠点づくりプロジェクト
12	行政	行かなくてもいい市役所プロジェクト
13	DX社会基盤(人材育成)	スマート“ライフ”シティを支える人材育成プロジェクト
14	地域づくり	山口モデルの阿東スマートビレッジ(スーパーシティ)構築プロジェクト

## 分科会の設置

山口市スマートシティ推進ビジョンの推進に当たっては、交通、行政、子育て・教育など暮らしを支える様々な分類における課題解決に向けて、スマートシティ連携事業者を中心とした分野ごとの分科会を設置し、具体的な施策・サービスの社会実装を行っていきます。

山口市スマートシティ推進協議会

【事務局:山口市】

山口市スマートシティ連携事業者

【構成団体:地域、民間事業者、大学、研究機関、公益法人、NPOなど】

分科会(各分野の取組等の検討)

交通(移動・物流)

防災・防犯

子育て・教育

ヘルスケア(医療・介護)

観光・文化・スポーツ

環境・エネルギー

産業

地域づくり

行政

人材育成

データ連携基盤

セキュリティ

(2) 山口市におけるスマートシティの進捗状況について

## ①分科会の活動

分科会を設置し、各分野での取り組みについて専門的な視点から検討を行っています。

## 1. データ連携基盤活用分科会

■概要 現在、構築に向けて取り組んでいるデータ連携基盤について、進捗状況の共有、今後の活用や運用方針を検討

■構成 松野会長、杉井副会長、NTT西日本グループ等

重点PJ  
1

## 2. 最適な移動を実現するまち分科会（交通分科会）

■概要 タクシー協会において検討している共同配車システムの導入に係る検討やこれまで取り組んでいるMaaSの取組を中心に協議

■構成 鈴木委員、杉井副会長、交通事業者等

重点PJ  
2

## 3. 阿東スマートビレッジ分科会

■概要 阿東地域において、市内の他の地域への横展開が図られるような、スマートシティの取組をスモールスタートする

■構成 松野会長、高田委員、阿東地域内でデジタル技術を活用した取組を進めている事業者等

重点PJ  
14

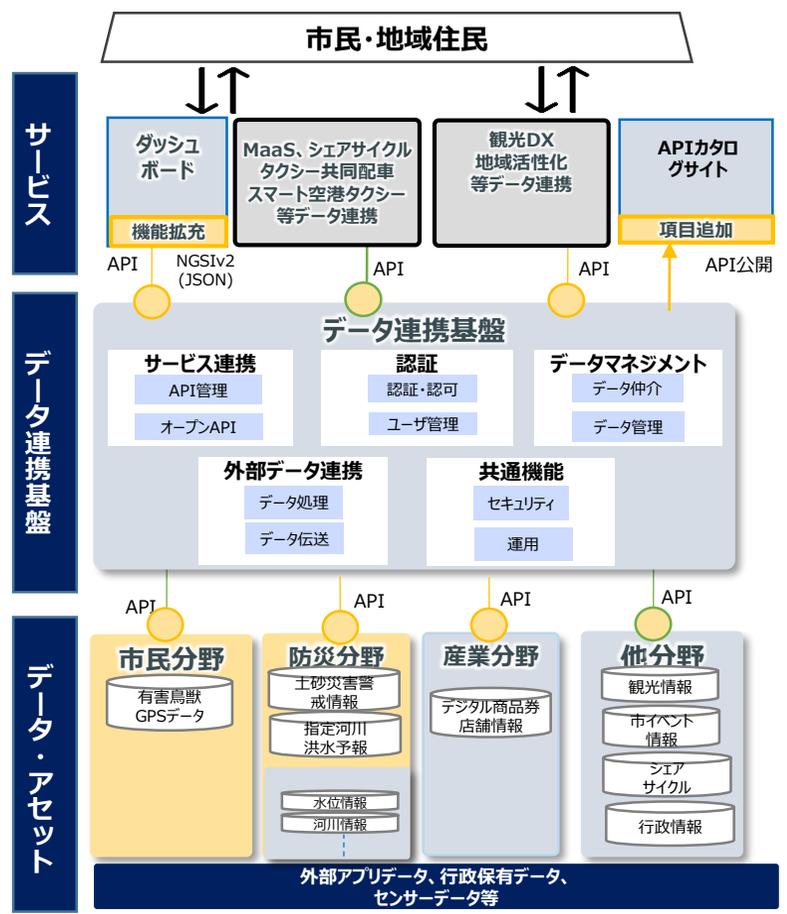
# 1. データ連携基盤活用分科会

松野会長・杉井副会長にも御意見をいただきながら、データ連携基盤の構築・運用事業者であるNTT西日本・NTTビジネスソリューションズと新たな価値の創造に向けた議論を行っています。

## ①今年度のデータ連携基盤の改修内容の検討

令和5年3月に構築した山口市データ連携基盤により有効なデータを連携させていくため、分科会で議論を行っています。

- 市民生活の安全安心の確保に向けた防災分野の情報を連携
- 令和5年度は、複数分野の情報連携による新たな価値創造のため、観光分野(イベント情報)や交通分野(シェアサイクル情報)、行政情報(公共施設情報)などの情報を連携
- 今年度は、近年問題となっているサルなどの有害鳥獣のGPSデータ、土砂災害警戒情報、指定河川洪水予報を連携させることで、市民のみなさまの安全安心にさらに繋がる環境の整備の実施

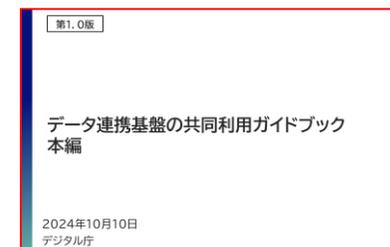


凡例:  : 既存機能部分  : 今年度改修部分  : 他システム連携検討部分

## ②データ連携基盤共同利用の検討

山口市で構築したデータ連携基盤を、山口県内の他市町等で共同利用し、同様のサービス提供していくことができないか検討を行っています。

- ・共同利用に向けた技術的な課題整理、運用面での課題整理
- ・共同利用に資するサービス等の検討



## ③データ連携基盤利活用の検討

山口市で構築したデータ連携基盤をどのように利活用を進めていくか、データの利活用、民間サービスとの連携について議論・検討を行っています。

- ・ 既存の防災データやイベント・施設データを民間企業・市民がさらに利活用していくことで、well-beingの向上や民間サービス連携を進めていくことが重要
- ・ 市内3大学の学生などに向けて、データ利活用の促進を図ることができる、また、DX分野の人材育成に繋がるワークショップ等施策の実施を検討
- ・ データ連携基盤の利用状況調査や評価、および住民参加型による新たなデータを収集する仕掛け作りの検討

## 2. 最適な移動を実現するまち分科会（交通分科会）

今年度、2回の「最適な移動を実現するまち分科会」（交通分科会）を開催しました

### ◆第2回議題

1. まちづくりアンケートからみる交通
2. バス事業におけるGTFSの整備状況と利活用
3. バスでのICOCA利用履歴データの利活用について
4. タクシー配車アプリの状況について
5. **福祉乗車証のIC化に向けた検討状況について** ⇒次頁詳細
6. 人流データによる市内交通アセット活用について

### ◆第3回議題

1. **福祉乗車証のIC化に向けた検討状況について** ⇒次頁詳細
2. 徳地生活バスのAIデマンド交通実証の状況について
3. タクシー配車アプリの状況について
4. 自動運転EVバスの周南市での取組について

### 【交通分科会委員名簿】

役職	所属	氏名
会長	交通ジャーナリスト・山口市公共交通委員会 副委員長	鈴木 文彦
委員	国立大学法人山口大学 国際総合科学部 学部長	杉井 学
委員	西日本旅客鉄道株式会社 山口地域共生室 室長	能登 一明
委員	山口地区タクシー協会 会長	大隅 正和
委員	防長交通株式会社 乗合営業部長	河合 貴志
委員	中国ジェイアールバス株式会社 運輸部運輸課 主席・生活交通活性化推進室 室長	渡瀬 千博
事務局	山口市総合政策部スマートシティ推進室、山口市都市整備部交通政策課	

## 【参考】福祉乗車証のIC化に向けた検討について

現在、本市に居住している70歳以上の方に、路線バスを1乗車100円で利用できる福祉優待バス乗車証を交付しています。この福祉優待バス乗車証をICOCAを活用したICカード利用に切替ができないか、検討を行っています。

### □現在のICカードの交付方法

・バス事業者の窓口にて交付(交通系ICカードに情報を書き込みする方法)

→1枚ずつ交付しなければならず、交付に係る業務が膨大となり、福祉乗車証への対応は困難でした。

### ■ICOCA Web定期券サービス (令和7年春 提供開始予定)を活用した実現の検討

このサービスは、福祉乗車証の情報を車載機等に配信し、カードIC認証により通過できる仕組みです。この仕組みを利用することで、山口市でも対象者のデータベースを一括で登録することが可能となる見込みです。なおカードの発行をする場合は、引き続きバス事業者の窓口にて行うことを想定しています。

スマートフォンやパソコンから、定期券を購入し、そのまま乗車



※将来的には、調査員が同乗するOD調査から、ICカードの利用履歴からOD集計する形への移行を目指す。

### 3. 阿東スマートビレッジ分科会

今年度、2回の「阿東スマートビレッジ分科会」を開催しました

#### ◆第3回議題

1. 2024問題への対応について
2. トヨタモビリティ基金を活用した実証について
3. 地域内サーバの構築によるデータ利活用について

#### ◆第4回議題

1. 地域での暮らしにウェルビーイングをもたらす笑顔と安心のコミュニティ&モビリティ(進捗報告)
2. 地域内サーバの構築によるデータ利活用について
3. 阿東スマートビレッジにおける官民連携の取組について

#### 【阿東スマートビレッジ分科会委員名簿】

役職	所属	氏名
会長	山口大学 副学長	松野 浩嗣
委員	NPO法人ほほえみの郷トイトイ 事務局長	高田 新一郎
委員	有限会社 FirstClass 代表取締役	明日香 健輔
委員	地域活性化企業人(株式会社アイシンから山口市に派遣)	後藤 浩次
事務局	山口市総合政策部スマートシティ推進室、山口市阿東総合支所地域振興課	

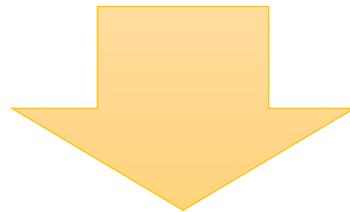
# 阿東スマートビレッジの考え方

デジタル技術を活用して課題を解決することが目的ではなく、人の暮らしに寄り添い、誰もが笑顔で安心して暮らし続けるために何が必要かという視点で、デジタル技術の活用を考える。



# 阿東地域におけるデジタル技術の活用

- ・地域住民の生活に寄り添う
- ・人口減少によるコミュニティの低下を補完する
- ・デジタルの活用ありきではなく人の暮らしを中心に考える



地域での実証データを蓄積、活用できるしくみを構築することで  
地域のウェルビーイングを高めながらスマートビレッジを目指す

# (1) 地域での暮らしにウェルビーイングをもたらす笑顔と安心のコミュニティ&モビリティ

山口線や路線バスがあるとはいえ、やはり車での移動が主流の阿東地域。車があればなんとかなることも、免許のない方や高齢で免許を返納された方にとってみたら、本当に不便で住みづらい地域との声をたくさん聞きます。



「多様なパートナーとともに、移動に関わる国内外の社会課題の解決に取り組む」トヨタモビリティ基金助成事業に採択され、**地域交流拠点をつなぐ移動の実証実験**を行っています。

**地域をつなぐ移動の実証実験**

電話一本で！自宅からお出かけ先へ  
トイトイまでの送迎他、最寄り駅、バス停留所などへもお送りいたします！  
まずはお気軽にご相談ください！

のらなまやそんそん！  
**090-1830-1800**

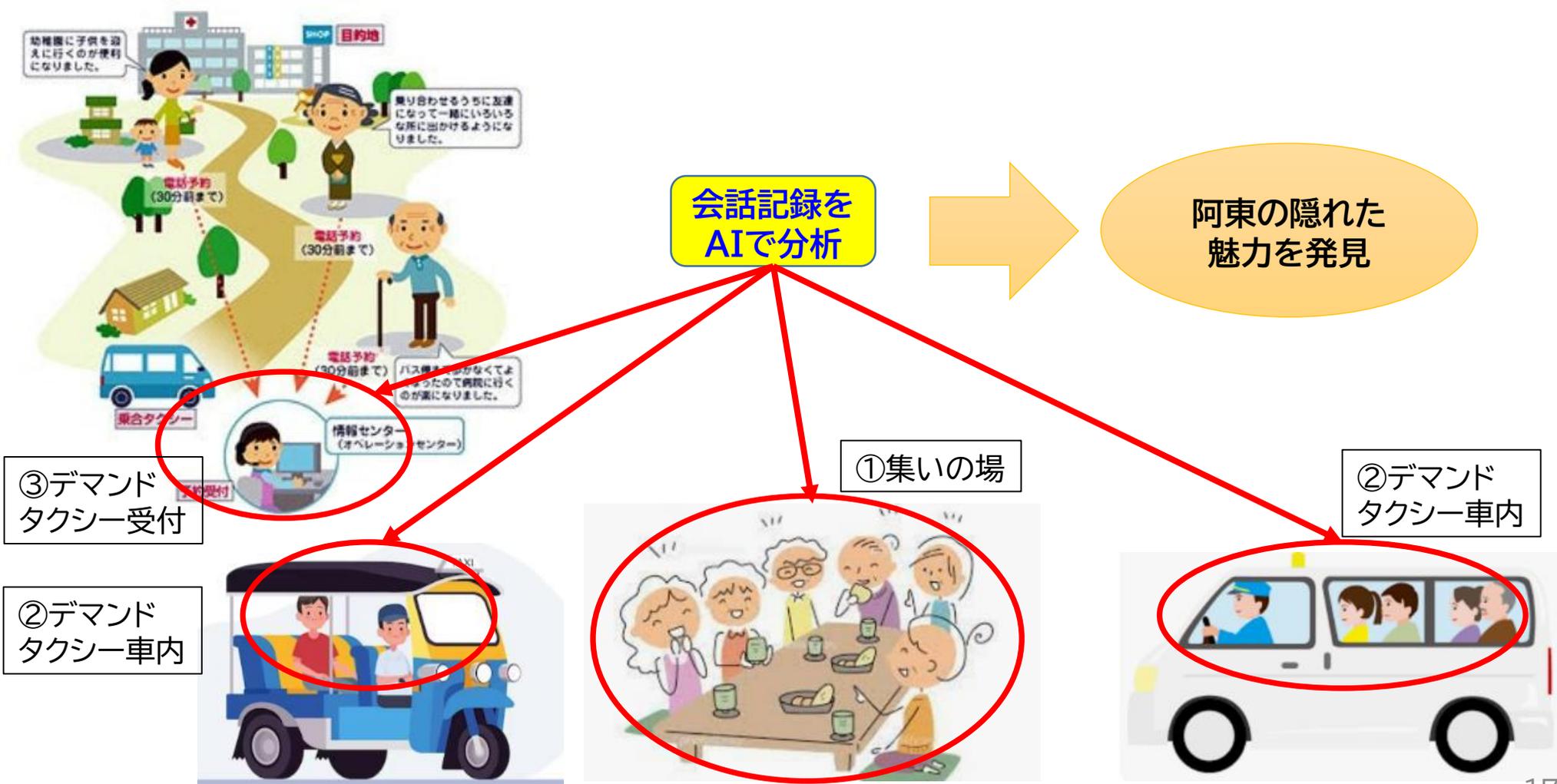
運行日 月曜日～金曜日  
受付 午前9時～午後3時（運行は16時まで）  
対象 地福・篠生在住の方  
※対象地域は拡大予定です  
問合先 特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイ  
※電話番号 083-952-1800

格さん号 地域の移動の世直しっ！ 助さん号



## (2) 阿東オリジナル・ウェルビーイング

### 気心の知れた雑談・会話から阿東の隠れた魅力を発見



### (3) 草刈り

## 誰でも草刈り

・草刈り、特に草の良く育つ夏の炎天下での作業は、大人でも大変な作業です。子供や高齢者は、刈払い機を使った作業はできないのが、現状となっています。

そういった大変な作業を『誰でも草刈り』できるように、更に、地域貢献にみんなが参加し、する側もされる側もうれしくなるようにと考え、リモコン式電動草刈り機を導入しました。

草刈りはもとより玄関先の雪掻きや荷物運び等々、地域の身近な助っ人となることも考えています。

将来的には、自律化・自動化を進め害獣・害虫の忌避や環境保全にも活用したいと考えています。



⇒刈らずに除草  
⇒草刈り機で押し倒し  
+ 熱湯で茹でる！

## ②重点プロジェクトと今後の展開について

# 重点プロジェクト1 新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト

## 現在の取組

### 充 データ連携基盤(都市OS)の活用に向けた取組

- 令和5年3月に、データ連携基盤(都市OS)を構築し、併せて様々な分野のオープンデータを一元化し、地図上に表示する「山口市ダッシュボード」を整備しました。防災分野の情報(ハザードマップ、気象情報、河川水位、避難所情報)、観光分野(イベント情報)や、交通分野(シェアサイクル情報)、行政情報(公共施設情報)等の情報を公開しています。
- 令和6年度はサル等の有害鳥獣の被害がある仁保地域において、GPSを取り付けたサルの動きをダッシュボード上に表示します。



▲山口市ダッシュボード

#### 【令和6年度追加情報】

分野	追加予定データ項目
市民	有害鳥獣(サル等)のGPSデータ
防災	土砂災害警戒情報 指定河川洪水予報

#### 【山口市ダッシュボード閲覧者数】

年度	閲覧者数(累計・人)
R5年度	33,154
R6年度(~9月)	15,777

### 新 オープンデータの活用に向けた取組

- 県主催事業「シビックテックチャレンジYAMAGUCHI」を活用して、データ連携基盤のデータ活用を進める事業に取り組んでいます。具体的には、オープンデータを活用した子供向けワークショップとして、自宅付近の避難所やハザードマップ等を確認いただき、災害時に備え、近くの避難所について考えたり、親子で話し合うきっかけづくりに取り組みました。



▲ワークショップの様子

## 重点プロジェクト2 最適な移動を実現するまちプロジェクト

### 現在の取組

#### 充 タクシー配車アプリの利用開始

- 令和6年1月15日から、アプリ1つでタクシーの手配や配車車両の位置確認ができる「やまぐちTAXIアプリ」の実証実験がスタートしました。10月末時点:登録者数4,789人【令和6年度追加情報】
  - クレジットカードの登録及びアプリ内決済機能
  - LINEからのタクシー配車機能



#### 新 徳地地域でのAIデマンド交通の実証実験を開始

- 公共交通機関の利便性向上や効率的なタクシー供給のため、令和6年10月1日から、AIデマンドシステムを使った予約運行を行い、利用者が自宅近辺などで乗降を行います(9月までは定時定路線で5路線を運行)。
- 八坂地区では、羽高線、船路西線、船路東線の3路線を、串・島地地区では、安養地線、西村線の2路線をそれぞれ1つに統合し、利用者からの予約に応じて、それぞれの地域内を運行しています。

※タクシー配車アプリ及びAIデマンドシステムは、連携事業者である株式会社REAが、県「やまぐちデジタル実装モデル創出業務」の選定を受けてシステム構築をしています。



▲島地地区内を走る徳地生活バス (口ハス島地温泉)

#### 充 シェアサイクルの利用拡大

- 令和6年4月以降、利用者の利便性向上を図るため、電動アシスト付き自転車20台を新たに導入し、サイクルポートを3箇所増設しました。(サイクルポート:36箇所、普通自転車:100台、電動アシスト付き自転車:20台)

【シェアサイクル利用者数】

年度	延べ利用者数(人)
R4.8	2,822人
R5.8	5,763人
R6.8	9,348人

## 重点プロジェクト3 逃げ遅れ“ゼロ”プロジェクト

### 現在の取組

#### 充 総合防災情報システムの運用開始と避難行動要支援者の避難支援体制の構築

- 災害時における災害対応力の強化に向けて、災害対策本部(本庁)と総合支所、各地域交流センター間において、災害情報をオンラインで情報共有できる「総合防災情報システム」の運用を開始しました。
- 避難行動要支援者名簿を基にした個別避難計画(避難マイプラン)を引き続き作成・更新するとともに、「避難行動要支援者等管理システム」上に、関係機関との情報共有を一元的に管理できる災害の発生に備えた避難行動を時系列に整理できるタイムライン機能を導入しました。

#### 新 デジタル技術を活用した消防・救急活動の高度化

- 救急隊員の人材育成として、VRゴーグル等を活用したイメージトレーニングを取り入れ、現場経験の浅い隊員を始めとした隊員各自の判断能力の向上を図っています。



▲VRを活用したトレーニング

#### 新 デジタル技術を活用した避難者情報把握の把握実証の実施予定

- ICタグを活用し、避難所に避難されてきた方の情報把握の可能性について実証を予定しています。(3月)

#### 新 浸水センサを活用した浸水状況の確認

- 国土交通省が実施する、浸水の危険性がある地区にワンコイン浸水センサを設置することで、リアルタイムに浸水状況を把握し迅速な災害対応に生かす実証実験に山口市も参加しています。今年度センサを市内101か所に取付け、実証を行う予定です。



▲河川に設置したセンサ  
(出典：国交省ウェブサイト)

## 重点プロジェクト4 親が元気に活躍するまちプロジェクト

### 現在の取組

#### 新 放課後児童クラブ60施設における保育・教育施設向けICTサービス「コドモン」の導入

- 入退室や出退勤の管理を徹底し、今まで電話やメール、子供を通じての手渡しを行っていた施設から保護者への毎月のお便りや一斉連絡の手段をコドモンで統一することで、支援員の業務負担軽減と保護者の利便性向上を目指します。

#### 充 子育て世帯の負担軽減に向けた取組

- 保育士の事務負担の軽減による保育の質の向上を目的として、保育現場のデジタル化を進めています。民間の保育施設における保育業務支援システムや保育料のキャッシュレス決済の導入、Wi-Fiの整備、タブレット端末・モニターなどの機器導入を支援しています。

#### 充 子育て支援アプリ「やまここby母子モ」の提供

(子育て支援情報の配信やオンライン相談、オンライン予約)

- 妊娠、出産、子育てに関する手続きやアンケートをオンラインで提出する体制を整え、記入や待ち時間等の負担軽減を図っています。
- 子育て世代が必要な情報を各課からタイムリーに配信する体制を整えるとともに、ご自宅から相談できるオンライン相談を導入し、利便性の向上に努めています。

【「やまここ」登録者数】

年度	登録者数 (人)
R6	4,833

令和6年11月30日時点

【妊娠届オンライン提出者・割合】

年度	届出件数 (件)	オンライン提出 件数(件)	紙提出件数 (件)	オンライン割合 (%)
R6	718	699	19	97

令和6年11月30日時点

▼山口子育て応援サイト



▼山口親子♡子育てアプリ「やまここ by 母子モ」



▼山口子育て保健課公式インスタグラム



# 重点プロジェクト5 生涯学び・活躍プロジェクト

## 現在の取組

### 充リカレント教育を含めた生涯学習の充実

- 山口市中小企業人材育成応援補助金として、市内企業の役員または従業員のために業務上必要なスキルの習得やリカレント教育の導入を促進するため、研修費・資格試験受験料等の補助を行っています。
- 山口市内の山口大学、山口県立大学、山口学芸大学の3大学において、各大学が持っている教育・研究を広く開放する「公開講座」を実施しています。
- 山口情報技術センター[YCAM]では、人々のメディア・リテラシーを高めるための試みとして、人と「社会」「身体」「メディア・テクノロジー」との関わり方をテーマとしたワークショップを開発しています。

【山口市中小企業人材育成応援補助金交付実績】

R4年度	25件
R5年度	17件
R6年度	16件

### 継図書館利用者カードのデジタル化

- 図書館利用者カードを持ってこなくても図書館サービスが利用できる仕組みづくりとして、スマートフォンやマイナンバーカードを図書館利用者カードとして使用できるサービスを提供しています。



スマホやマイナンバーカードが図書館利用者カードに！

## 重点プロジェクト6 豊かな学びをはぐくむプロジェクト

### 現在の取組

#### 充 ICTを活用した学びの充実

- 市内全ての小・中学校の通常学級に設置された電子黒板の計画的な更新や、音楽室や特別支援学級等への増設を行っています。
- AIドリル教材、授業支援ソフト等の引き続き活用していくとともに、学校におけるデジタル化やICT教育の支援体制として、情報教育支援アドバイザーや、ICT機器の活用をサポートする情報教育支援員を12名配置しています。

#### 充 「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」の実施

- 引き続き、情報芸術センター[YCAM]と協働し、「360°図鑑」の取組を全ての市立小学校で展開するとともに、市立中学校においては、文化祭を通じた展開を図ります。また、教員の指導力向上を図るための研修を実施しています。



「360° 図鑑」



文化祭でのICT活用の取組

#### 新 統合型校務支援事務の効率化

- 統合型校務支援システムの運用を開始し、校務事務の効率化を図ることで、教職員が子どもたちと向き合う時間や授業準備にかかる時間の確保につなげます。

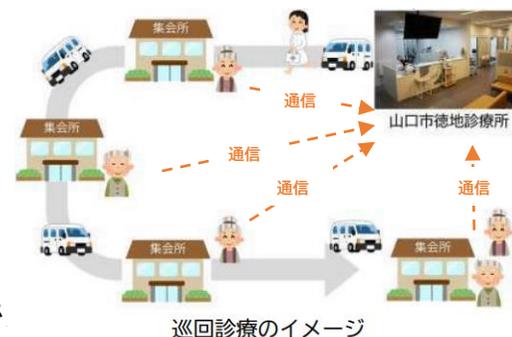
「未来の山口の授業 at School」として  
第17回キッズデザイン賞優秀賞 経済産業大臣賞受賞

## 重点プロジェクト7 元氣いきいきプロジェクト

### 現在の取組

#### 充 無医地区での遠隔医療システムを通じた医療提供体制の確保

- 無医地区(医療機関のない地域)である三谷地区等において、医療提供体制を確保するため、市徳地診療所の診療看護師が巡回診療車により各地区の集会所等に出向き、市徳地診療所の医師が車載の遠隔診療システムを通じて診察を行っています。



#### 新 デジタル化を通じた介護保険認定事務の迅速化

- 介護認定手続きに必要な調査票の作成支援システムを完備した端末を導入したことで今まで帰庁後に入力していた調査票への入力が空き時間に入力可能となった。加えて、介護認定審査会システムとのデータ連携による事務の効率化を図るとともに、必要な時に必要なサービスが提供できるように、取組を進めます。(令和6年度導入予定)

#### 新 介護人材の確保に向けた取組

- 安全で働きやすい職場環境の整備により、介護人材の確保に向けて、「ノーリフティングケアの導入」を進めています。今年度はセミナーを開催し、今後はモデル事業者を選定し、来年度以降福祉器具の購入費の支援や取組に対する講師派遣による伴走支援をしていきます。



▲ノーリフティングケアに関するセミナーの様子

#### 充 VRを活用した発達障がいや認知症の理解促進について

- VRの技術を活用し、認知症や発達障がいの視点を疑似体験することで、理解を深めるとともに、コミュニケーションのあり方や地域での支えについて学ぶ体験会を実施しました。

# 重点プロジェクト8 おいでませ山口・観光地域づくりプロジェクト

## 現在の取組

### 新 インバウンド等の受入環境整備

- 観光客の利用が多く見込まれる施設等(観光案内所、湯田温泉駅足湯、香山公園等)について、フリーWi-Fiによるインターネット環境の充実を図っています。また、市内事業所におけるキャッシュレス決済設備の導入等を支援しています。



▲山口市デジタル観光マップ

### 充 誘客プロモーションの拡充

- 市内主要観光スポット等の情報をデジタル上のマップから取得できるサービス「山口市デジタル観光マップ」の運用を開始しました。
- 山口市産業交流拠点施設「KDDI維新ホール」の利用者を主対象に、来訪者の方々が、大内文化ゾーンや中心商店街等の山口都市核エリアに足を延ばしていただくための回遊策として、AR謎解きスタンプラリーを実証的に実施しています。



▲マップ

観光客数			主な観光地と観光客数		
山口市全体	5,078,570人	前年比124%	湯田温泉	754,603人	前年比122%
うち宿泊	807,984人	前年比113%	香山公園(五重塔)	480,383人	前年比92%
うち日帰り	4,270,586人	前年比126%	SLやまぐち号	10,228人	前年比58%
外国人観光客	48,932人	前年比 534%	出典:R5年観光客動態調査結果		



▲専用ウェブページ



▲AR謎解きスタンプラリー

## 重点プロジェクト9 地域脱炭素推進プロジェクト

### 現在の取組

#### 新 地域新電力会社「山口グリーンエネルギー株式会社」の設立

- 本市とともに地域脱炭素の取組を推進する重要な担い手として、本市と民間事業者の共同出資により「山口グリーンエネルギー株式会社」を設立しました。
- 今後、新会社と連携を図りながら、地域脱炭素の取組を通じた地域経済の好循環や持続可能なまちづくり等に向けた取組を推進していきます。



#### 充 EVカーシェアリングの導入の促進

- 令和5年9月から、平日は市職員が公用車として使用し、土・日曜と祝日に利用可能な市民が利用できる電気自動車（EV）のカーシェアリング事業の実証を始めました。（市役所前庭設置）
- 令和7年2月からは、山口中央郵便局に自動車（PHEV）を3台設置し、カーシェアリング事業を開始する予定です。



▲市役所前庭で実証中のカーシェア

【R5.9～R6.11の利用実績(累計利用数)】

車種	R5(9～3月)		R6(4～11月)	
	カーシェア 利用回数	1日平均 利用数	カーシェア 利用回数	1日平均 利用数
bz4x (写真左)	55回	0.7回	35回	0.5回
C+pod (写真右)	19回	0.3回	16回	0.2回

# 重点プロジェクト10 地域産業・経済活性化プロジェクト

## 現在の取組

### 充 お金の地域内循環に向けた山口デジタル地域通貨の導入促進

- 令和5年度に「山口市デジタル商品券等共通プラットフォーム」を構築し、デジタル商品券の発行に活用し、市内消費喚起を図っています。
- 住宅リフォーム工事に対する助成事業「安心快適住まいる助成事業」では、デジタル商品券を選択した場合、助成対象となる工事金額の助成率を5%上乘せし、デジタル商品券の推進を進めています。

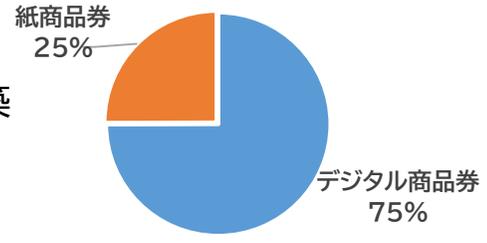


図. R5年度「安心快適住まいる」のデジタル・紙発行割合



### 新 現地決済型ふるさと納税の導入について

- 現地決済型のふるさと納税サービス「ふるさとtoらべる」を令和6年5月から導入しました。ふるさと納税制度を活用し、市内宿泊施設の宿泊代に利用できる電子クーポンを発行することができます。



▲ふるさとtoらべるウェブサイトより

### 新 AIカメラを活用した商店街の人流データの分析実証

- 山口市中心商店街の複数地点にAIカメラを設置し、AIカメラで推定した時間帯別・性別年代別の来訪者数と気象や交通、イベント情報などの「まちのにぎわい」に影響を与えることが想定されるオープンデータを収集し、来訪者への影響分析を行っています。

### 充 デジタル技術を活用した持続可能な農業の実現

- 農業における担い手不足の解消、農業生産における省力化に向けて、デジタル技術を活用したスマート農機を始めとした農業機械等の導入を支援しています。



# 重点プロジェクト11 スマート“ライフ”シティを支える拠点づくりプロジェクト

## 現在の取組

### 新 交流・生きがいづくりの機能の強化

- 「湯田温泉こんこんパーク」のイベントとして、山口大学や山口県立大学で大学生や地域の方が参加できるレノファ山口FCを応援するパブリックビューイングのイベントを開催しました。



▲パブリックビューイングの様子

### 充 デジタル活用支援機能の強化

- 地域の団体や企業等と連携し、地域交流センターを中心に、デジタルに不慣れな方へのスマートフォンの使用方法等に関する講座を開催するとともに、受講希望者宅などを会場とした訪問型講座を実施するなど、地域内でのデジタル活用支援の仕組みづくりの検討を行っています。

交流センター等でのスマホ講座	訪問型スマホ講座
年80～100回程度	20世帯



▲スマホ相談教室

### 充 防災拠点機能としての取組

- NTT西日本と連携し、地域交流センターなどに太陽光パネル及び蓄電池などを設置しており、災害による停電時においても、蓄電池の電力を活用することで、地域交流センターなどの地域防災拠点の強化を図っています。

【設置場所】平川地域交流センター、大歳地域交流センター、小郡総合支所、阿知須地域交流センター



▲大歳交流センターの太陽光パネル 30

## 重点プロジェクト12 行かなくてもいい市役所プロジェクト

### 現在の取組

#### 充 行政手続のオンライン化等の推進

- 行政手続のオンライン化は市民等の利便性向上効果が特に高いと考えられるため、「国が推奨する手続き」や「申請届出数が多い手続き」を中心に順次対象手続を拡大しています。
- オンライン申請の利用率向上を図るために、オンライン申請手続を集約して案内するポータルサイト「やまぐち電子申請サービス」を構築しました(令和6年11月)。
- 山口市LINE公式アカウントを市民と行政をつなぐポータルのプラットフォームと位置付けて、継続的な機能強化を進めています(令和5年度は「子ども・子育て」メニュー等を新設)。

時期	R3.4末	R4.3末	R5.3末	R6.3末
LINE登録者数(人)	14,881	20,601	23,791	27,660

#### 充 新本庁舎等における市民の利便性向上や業務効率化の推進

- 「利用者目線」を重視した利便性の高い窓口手続環境の構築を図るために、新本庁舎建替を契機としてデジタル技術の活用による「ワンストップで」「書かない」「待たない」窓口の展開に向けた取組を進めています。



▲山口市LINE公式アカウント

## 重点プロジェクト13 スマート“ライフ”シティを支える人材育成プロジェクト

### 現在の取組

#### 充 デジタル人材の育成に向けた取組(大学)

- 山口大学が実施する地域課題解決演習(PBL)では、デジタル技術や知的財産に関する知識等を学び、山口県内の企業・自治体と連携し、課題解決方法について考える演習を行っています。令和6年度は引き続き、ほほえみの郷トイイや株式会社原田屋でのフィールドワークを通じ、DXを用いた課題解決プランを作成・提案しました。
- 山口県立大学が実施する「やまぐち未来デザインプロジェクト」では、学生自らが主体的に行動して責任をもって社会変革をしようとする力を身に付けることを目的として、市の課題や現状を整理し、データに基づいて問題提起を行いました。



▲「やまぐち未来デザインプロジェクト」の様子

#### 充 デジタル人材の育成に向けた取組(企業)

- ネットワーク形成事業として、デジタル人材の可視化、デジタルを勉強中の人たちやデジタルを生業としている事業者のコミュニティの形成を目的に交流会やイベントを開催しています。
- 産業全体のDXの裾野を広げることを目的とし、圏域内の事業者のデジタル化への変革の契機と捉えてもらうための、デジタル化促進セミナーやアドバイザー派遣を実施しています。
- デジタル人材のネットワーク化や、ネットワーク強化のための人材育成を図ることで、起業創業や市内企業等のDX促進につなげるとともに、中小企業とデジタル人材のマッチングや、市内事業者の課題掘り起し及び伴走支援などを行っています。



▲デジタル人材育成に向けたセミナーの様子

年度	デジタル窓口相談	セミナー参加者	アドバイザー派遣
令和5年度	37事業者延べ92件	162名(全7回)	29事業者延べ41回
令和6年度	25事業者延べ63件	51名(全3回)	3事業者延べ5回

## 重点プロジェクト14 阿東スマートビレッジ（山口モデルスーパーシティ構築）プロジェクト

### 現在の取組

具体的な取組については、  
「阿東スマートビレッジ分科会」の活動報告に記載しています。

## 今後の方向性について

本市のスマートシティの推進にあたって、これまで本市が大切に育んできた歴史文化、地域資源、人と人とのつながりといった、いわばアナログと言われるものを大切にしつつ、市民生活の視点を第一に考えたデジタル化により、市民の安全安心や生活の質の向上、幸せづくり、地域経済の活性化に向けて取り組んでいます。

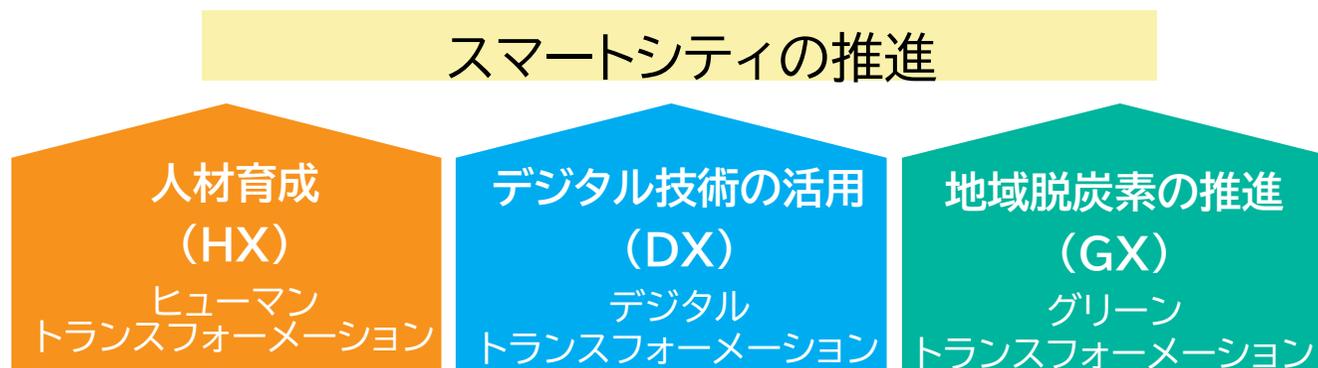
### 【第二次山口市総合計画後期基本計画(抜粋)】

未来に向けたチャレンジを支える基盤として、**人材育成(HX)**、**デジタル技術の活用(DX)**、**地域脱炭素の推進(GX)**の3つのトランスフォーメーションの取り組みを一体的に進め、地域社会を守り、市民生活をより良いものへと変革していくことで、本市の持続的な発展につなげていく



### 【今後の方向性】

スマートシティ推進に向けて、**デジタル技術の活用(DX)**に加えて、**人材育成(HX)**や**地域脱炭素の推進(GX)**についても新たな取組・手法などに関して、機動的な分科会の設置を検討していきます。



【参考】 関連 K P I （重要業績評価指標）

## 【KPI(重要業績評価指標)】

### 重点プロジェクト1 新たな価値創出・新たなサービス提供プロジェクト

指標名	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	中間目標値 令和6年度	最終目標値 令和9年度
日常生活において必要なサービスや移動手段に不便していないと思う市民の割合	59.8%	60.5%	65.0%	64.5%	64.6%	67.0%
住まいの地域の住みやすさ	88.6%	88.8%	86.2%	88.4%	90.0%	—
未来技術の活用件数	4件	18件	19件	24件	向上	向上

### 重点プロジェクト2 最適な移動を実現するまちプロジェクト

指標名	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	中間目標値 令和6年度	最終目標値 令和9年度
市内での車の移動が円滑であると思う市民の割合	76.1%	76.7%	76.5%	77.5%	76.8%	78.0%
公共交通機関の利便性に満足している市民の割合	54.1%	53.2%	54.3%	51.6%	55.6%	57.5%
日常生活において必要なサービスや移動手段に不便していないと思う市民の割合【再掲】	59.8%	60.5%	65.0%	64.5%	64.6%	67.0%

### 重点プロジェクト3 逃げ遅れ“ゼロ”プロジェクト

指標名	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	中間目標値 令和6年度	最終目標値 令和9年度
災害への備えをしている市民の割合	42.3%	40.9%	56.2%	55.2%	37.0%	40.0%
災害の面で安全に暮らせていると感じている市民の割合	62.1%	63.9%	55.1%	54.1%	57.0%	60.0%
治安がよく、安心して住めると思う市民の割合	95.7%	95.5%	96.3%	96.4%	維持	維持

## 【KPI(重要業績評価指標)】

### 重点プロジェクト4 親が元気に活躍するまちプロジェクト

指標名	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	中間目標値 令和6年度	最終目標値 令和9年度
子どもを安心して生み育てられる環境が整っていると 思う、子どもを持つ親の割合	53.1%	59.3%	67.3%	63.5%	67.0%	70.0%
働きやすく、生活とのバランスがとれたまちだ と思う市民の割合	48.1%	48.2%	33.1%	34.9%	52.0%	55.0%
ファミリー世代の転入超過	311人/年	-	-	144人/年	転入超過を維持	転入超過を維持

### 重点プロジェクト5 生涯学び・活躍プロジェクト

指標名	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	中間目標値 令和6年度	最終目標値 令和9年度
65歳以上で仕事や余暇の時間に生きがい を持って過ごしている人の割合	56.7%	61.2%	54.2%	56.5%	74.6%	77.3%
生涯学習に取り組んでいる市民の割合	26.4%	27.3%	28.0%	29.1%	28.2%	30.0%
生涯を通じ、学びの環境が整っていると 感じる市民の割合	68.3%	67.0%	65.1%	63.0%	68.0%	-

### 重点プロジェクト6 豊かな学びをはぐくむプロジェクト

指標名	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	中間目標値 令和6年度	最終目標値 令和9年度
学校生活を楽しんでいる児童の割合	89.7%	90.1%	89.4%	88.9%	91.4%	92.0%
学校生活を楽しんでいる生徒の割合	90.0%	90.5%	88.6%	89.6%	91.4%	92.0%
地域において子どもが健全に育成されている と感じている市民の割合	45.4%	43.6%	40.9%	41.1%	43.8%	45.0%

## 【KPI(重要業績評価指標)】

### 重点プロジェクト7 元気いきいきプロジェクト

指標名	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	中間目標値 令和6年度	最終目標値 令和9年度
医療体制が充実していると思う市民の割合	79.9%	80.2%	76.8%	76.6%	82.0%	85.0%
介護サービスが充実していると思う高齢者の割合	43.8%	47.8%	47.3%	50.2%	53.8%	54.1%
地域福祉活動で共助(相互扶助)ができていると思う市民の割合	33.5%	33.6%	33.2%	33.8%	42.0%	45.0%
日頃から健康や介護予防のためにしていることがある市民の割合	57.0%	58.8%	51.5%	51.8%	60.0%	63.0%

### 重点プロジェクト8 おいでませ山口・観光地域づくりプロジェクト

指標名	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	中間目標値 令和6年度	最終目標値 令和9年度
観光客数	3,040,552 人	3,357,705 人	4,076,064 人	5,078,570 人	6,000,000 人	6,000,000 人
山口市の文化・芸術・歴史に誇りや愛着を持っている市民の割合	62.2%	60.7%	57.6%	58.8%	68.5%	70.0%
スポーツに触れる(観戦する・行う・体験する)機会に恵まれていると思う市民の割合	67.3%	70.8%	67.2%	64.4%	76.2%	78.0%

### 重点プロジェクト9 地域脱炭素推進プロジェクト

指標名	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	中間目標値 令和6年度	最終目標値 令和9年度
快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	74.1%	77.7%	76.8%	81.0%	74.8%	76.0%
地球温暖化対策を意識して生活している市民の割合	81.0%	69.3%	70.3%	72.3%	72.0%	80.0%
再生可能エネルギー等利用設備を設置または設置を予定している市民の割合	16.8%	18.1%	22.2%	19.4%	22.5%	25.0%

## 【KPI(重要業績評価指標)】

### 重点プロジェクト10 地域産業・経済活性化プロジェクト

指標名	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	中間目標値 令和6年度	最終目標値 令和9年度
市内事業所数	–	8,041	–	–	維持	維持
市内事業所の従業者数	–	91,246	–	–	維持	維持
本市の耕地面積(ほ場整備面積)	4,209.1ha	4,209.1ha	4,209.1ha	4,209.1ha	4,319.6ha	4,484.5ha
市内大学生等の県内企業就職内定率	34.6%	38.4%	38.5%	32.6%	維持	維持

### 重点プロジェクト11 スマート“ライフ”シティを支える拠点づくりプロジェクト

指標名	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	中間目標値 令和6年度	最終目標値 令和9年度
住んでいる地域での良さや課題が地域住民の間で共有(認識)されていると思う割合	42.8%	42.1%	45.8%	48.6%	47.6%	50.0%
公共施設が利用しやすいと思う市民の割合	61.7%	61.7%	57.9%	58.1%	61.2%	63.0%
住まいの地域の住みよさ【再掲】	88.6%	88.8%	86.2%	88.4%	90.0%	–

## 【KPI(重要業績評価指標)】

### 重点プロジェクト12 行かなくてもいい市役所プロジェクト

指標名	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	中間目標値 令和6年度	最終目標値 令和9年度
行政サービスの事務手続きは、正確でスムーズだと思う市民の割合	78.0%	78.7%	76.3%	79.4%	83.2%	85.0%
行政サービスに対する市民の満足度	81.5%	80.6%	80.3%	78.3%	82%	-
未来技術の活用件数【再掲】	4件	18件	19件	24件	向上	向上

### 重点プロジェクト13 スマート“ライフ”シティを支える人材育成プロジェクト

指標名	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	中間目標値 令和6年度	最終目標値 令和9年度
生涯を通じ、学びの環境が整っていると感じる市民の割合【再掲】	68.3%	67.0%	65.1%	63.0%	68.0%	-
従業者数【再掲】	-	91,246人	-	-	維持	維持